

令和6年第18回教育委員会会議録

(要点筆記)

開催日 令和6年11月26日(火)

開催場所 名寄市役所 名寄庁舎 4階大会議室

教育長及び教育委員

教育長	岸	小夜子
教育長職務代理者	高橋	雅樹
教育委員	松田	潤子
教育委員	中枝	範子
教育委員	梅野	新

教育委員会事務局・その他機関の長等説明員

教育部長	伊藤	慈生
学校教育課長	土井	渉(欠席)
参事(特命課題担当)	山下	昌之
参事(指導主事)	松原	光利
生涯学習課長	堺	卓也
生涯学習課主幹	白井	薫
智恵文公民館長	吉田	清人
参事(風連生涯学習担当)	新田	博之
名寄市児童センター館長	小笠原	弘
名寄市教育相談センター所長	柴野	武志
北国博物館長	金田	卓浩
図書館長	安田	穰
図書館主幹	沼田	清裕(欠席)
天文台長	村上	恭彦
学校給食センター所長	小林	訓伯
学校教育課主幹兼総務係主査	菊池	剛

傍聴人 0名

開 会 午後3時00分

会議録署名委員の指名

高橋委員

別紙のとおり会議の顛末を記載し、その相違なきことを証するため、ここに署名委員とともに署名する。

教 育 長

署名委員

会務報告 教育部長から、前回の教育委員会議以降本日までの会務を報告

教育行政報告

教育長より教育行政について報告

- 1 市長・教育長の学校訪問について
 - ・11/11（南小学校）12（東小学校）訪問。
 - ・今年度の訪問をすべて終了。昨年度は感染症で給食を子供たちと食することができない学校もあったが、今年は全ての学校で子供たちと給食を共にすることができた。
- 2 令和6年度北海道都市教育長会秋季定期総会について
 - ・11/13、深川市にて開催。
 - ・開会式では、北海道教育委員会教育長代理として空知教育局長から、3点について指導・お願いがあった。
 - ① 教員の欠員が生じていることに対してお詫びと協力依頼。
 - ② 高校配置については、北海道は全国を上回るスピードで少子化が進んでいるので高校の再編は避けて通れない。各圏域等の意見を聞きながら進めていくのでご理解・協力をお願いする。
 - ③ 熱中症による救急搬送事案、雪山からの飛び出し事故等様々な事故が発生していることから、地域で連携し安全・安心な学校づくりを進めていただきたい。
- 3 令和7年度当初人事に係る教育長協議（管理職第1次）について
 - ・11/24、旭川市にて開催。
 - ・教育局との人事協議が始まる。名寄市の教育の質の向上を目指し、各学校と連携しながら人事異動事務を取り進める。
- 4 定例校長会議 定例教頭会議について
 - ・11/20、名寄市役所大会議室にて開催。
 - ・「危機管理関係」として「冬道の交通安全指導の徹底」、今年度から道内公立高校入試の出願手続きが一部電子化となることから「進路指導の厳正な対応」、教職員の不祥事防止に向けた取組についてお願いした。
 - ・部活動の地域移行について改めて協力依頼をするとともに、地域と連携・協力した社会に開かれた教育課程の実現についてお願いした。
- 5 第21回B＆G全国教育長会議について
 - ・「部活動の地域“移行”から、“展開”へ～指導者の確保は課題解決につながるのか～」をテーマに開催された。
 - ・基調講演では、前長野県飯田市教育長から「地域部活動の新しい形の創出～学校部活動を新たな地域コミュニティの活動へ」という演題で、各自治体が取り組む姿勢として、発想の転換を求める内容であった。
- 6 第71回北海道学校保健・安全大会上川（旭川）大会について
 - ・11/24、旭川市にて開催。
 - ・3部会に分かれ研究協議が行われ、名寄市は、「保健管理・保険教育、安全管理・安全教育」において、風連中央小学校教頭、智恵文小中学校養護教諭が提言者となり、日ごろの教育実践を発表した。部会の助言者として、風連中学校長が招へいされていた。

協議事項

議案第 1 号 名寄市育英奨学条例の一部改正について

議案第 2 号 名寄市育英奨学条例施行規則の一部改正について

〔学校教育課主幹〕 関連があるため、一括して説明。現行の条例と同条例施行規則の内容の見直しを行うため、条例及び規則の一部を改正しようとするもの。

〔教育長〕 意見はないか。

———— 意義無く承認 ————

議案第 3 号 令和 6 年度教育委員会所管予算に係る補正について

〔教育部長〕 主な補正予算、債務負担行為の内容について説明。

〔教育長〕 意見はないか。

———— 意義無く承認 ————

閉 会 午後 3 時 3 8 分